

# 12月 議会 報告

# 市民と共に取り組んできた要求が前進！

市長選挙で「市民の市政をつくる会」が掲げた「53の政策」実現にむけて奮闘します！

12月4日開会、12月25日までの会期22日間の日程で平成24年第4回定例会が行われました。今回の定例会は11月25日の市長選挙で、森市長が3期目の当選を果たした直後に行われた議会となり、森市長が今後4年間、マニフェストにもとづき、どのような市政を遂行していくのかが問われる議会となりました。党市議団も、「市民の市政をつくる会」が掲げた政策の実現をめざして、それぞれ個人質疑に立ち、市長並びに市当局の政治姿勢を質しましたので、ご報告します。

## 市長のマニフェストを質す

党市議団も一貫して要求してきた下記の要求について市長と当局が来年度実施にむけて答弁しました！

**認可外保育所の保護者への助成について？⇒市長「具体的に検討します」**

**住宅リフォーム支援事業は今後も継続するか？⇒市長「来年度も実施します」**

**子ども医療費の小6までの医療費助成はいつから開始するか？⇒市当局「平成25年8月から実施します」**

### 生活相談のご案内

□とき 毎週月曜日 午後1時より  
□ところ 市役所日本共産党控室(別館3階)  
□電話216-1440 FAX225-5607

### 個人質疑の一部を紹介します！

- (1)原子力災害アドバイザーの配置は？⇒(答弁)現在2名の専門家を配置し、助言を受けながら、今後の「原子力災害対策」策定に取り組めます。
- (2)いじめアンケート結果と対策は？⇒(答弁)小中高でいじめが1万8196件確認され、解消率は93.5%。未解決の件は被害児童を守り保護者と連携し解決めざします。
- (3)精神障害者健康福祉手帳の交付は？⇒(答弁)本年9月から、保健所で同時に友愛パスの受付ができるように改善しました。
- (4)訪問介護の本市の実態調査の結果は？⇒(答弁)958人の利用者の内、268人の利用者が訪問介護の時間を短縮している実態が明らかになりました。

## 生活保護の削減は、67の各種減免制度に影響を与えます！

現在、生活保護費の引き下げが政府で論議されていますが、本市には、生活保護基準をもとにした各種減免制度の施策が67あることが質疑の中で明らかにされました。個人住民税、国保税、介護保険料、障害福祉サービス、就学援助の認定、市立高校入学料など市民生活の幅広い分野で、現在の減免制度に悪影響を与えることが予想されます。今後、この実態を市民に知らせ、生活保護費削減反対の取り組みを強めていくことが必要です

## 市政報告

日本共産党  
鹿児島市議団ニュース

発行 日本共産党鹿児島市議団 2012年12月号 NO157  
鹿児島市山下町11-1 Ⅱ:216-1440 FAX 225-5607  
Email:kyousan@kagoshimashigikai.com  
http://www5.synapse.ne.jp/jcp-shigidan/



私たち党市議団がご報告しますので、ぜひご参加ください

## 市政報告会のご案内

日時：2013年1月19日(土) 午後2時開会  
会場：県婦人会館(2階会議室)

鹿児島市下荒田2丁目27-12

この市政報告は政務調査費で作製しています。市政に関するご意見、ご要望をぜひお寄せください。